

事業番号	09 03 01	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要対応穀物生産強化事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	農業技術課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
		2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H18 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○品質の高い米を生産するとともに、戦略作物(麦・大豆・そば)の導入促進を図り効率的な経営体の育成を目指す。</p> <p>○米の県オリジナル品種の導入を促進するとともに、食味・品質に優れた特徴のある米の作付け拡大を目指す。</p> <p>○麦・大豆・そばでは、加工適性が高い品種の導入を促進し、加工業者等から求められる生産を目指す。</p> <p>成果目標:実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積(H23:444ha→H29:1,750ha)</p>
現状	<p>○国は経営所得安定対策の実施により、農業経営の安定と国内生産力の確保を図っており、これらの施策への的確な対応が必要となっている。</p> <p>○本県においては、適期作業や基本技術の励行等による品質向上・良食味対策に努めた結果、農産物検査法に基づく1等米比率(水稻うるち・玄米)は全国トップクラスを維持している。しかし、近年は高温登熟や雑草イネ発生による品質低下が発生しており、対策が必要となっている。</p> <p>○麦、大豆、そばの生産振興は、食料自給率の向上を図る上で非常に重要であり、実需者ニーズ対応した麦・大豆・そば産地を育成し作付拡大を図るとともに高品質麦・大豆・そばの安定生産を確立する必要がある。</p>

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 長野県の米穀類生産を、一層実需者ニーズに対応したものに誘導するため、県の関与が必要である。
	県民との協働による実施: 困難	国庫補助等を有効活用しながら、米穀類の生産振興を行う県で実施するのが効果的である。

事業内容	① 成果目標(H25)				
	○実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積 772ha (平成29年度の1,750haに向け、H25年度の目標面積を水稻新品種:160ha、麦・大豆・そば新品種:612haに設定)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
需要対応穀物地域体制整備事業交付金	交付金	乾燥調製施設等を整備した。 交付先(A、市町村)	0	46,267	549,588
産地モニタリング事業交付金	交付金	カドミウムに対する植物浄化技術の実証等を行った。 交付先(市町村)	100	100	100
水稻及び水田作麦、大豆、そばの生産振興	直接	(1) 水稻及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会を開催した。 (2) 雑草イネ防除対策技術実証事業 防除技術確立現地実証圃の設置や検討会を開催した。	3,054	2,474	7,266
畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	(1) 経営所得安定対策を活用した畑作麦・大豆作付推進研修会の開催した。 (2) そば新品種振興事業 緊急雇用創出基金事業を活用し、そば新品種推進員によるPRを行った。 「信州ひすいそば」の商標を登録し、協議会設置により県オリジナル品種の需要拡大を図った。	4,086	3,309	417
合計			7,240	52,150	557,371

事業コスト	区 分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	121,000	554,640	7,335	0
	当初予算	180,176	406,780	7,240	557,371
	補正予算	378,140	△ 372,846	41,367	
	合計(A)	679,316	588,574	55,942	557,371
	国庫支出金	675,953	577,283	48,990	554,096
	県債				
	その他(諸収入)	205	8,099	3,657	9
	一般財源	3,158	3,192	3,295	3,266
	決算額(B)	123,947	503,652	52,150	
概算人件費	職員数(人)	2.35	2.35	2.35	2.35
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	19,406	19,406	19,406	19,406
		143,353	523,058	71,556	576,777

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積(ha)	555	772	805	達成	1,016

目標に対する成果の状況	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積は、水稻新品種やパン・中華麺用小麦新品種及び豆腐加工適正の高い大豆新品種の作付面積が増加したことにより目標を達成することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備を予定している事業主体の増加に伴い、26年度予算が大幅増となっている。 ・平成26年度は主要穀物の生産体制の強化を図るための技術研修会の開催や、雑草イネ防除対策技術実証事業により長野県産米の品質向上を図る。 ・水稻新品種の早期産地化を図るため、関係者が一体となった推進体制を整備する。また、新たな県産ブランド推進のために設立された「信州ひすいそば推進協議会」によるそば新品種の普及拡大を図る。 ・今後とも生産性及び品質の向上、安定した生産量の確保等により、実需者から期待される生産物を安定して供給できる産地の育成を図る。